

令和2年11月2日
(一社)建設技能人材機構

建設分野特定技能1号技能評価試験
受験案内

1. 試験の目的

本試験は、国交省が定める「建設分野特定技能1号技能評価試験実施要領」に基づき、特定技能1号外国人として必要な技能水準を満たしているかを判定するものです。

2. 試験対象職種

電気通信(1職種)

3. 試験日程

令和2年12月15日(火) 9:00～

※新型コロナ対策として、集合時間は受験者毎に異なりますので、注意のこと。

4. 試験会場

一般社団法人 建設技能人材機構

東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル9階

5. 受験定員

30名(仮)

※定員を上回った場合、受験できないことがあります。

6. 受験料

2000円

※受験会場にて現金で集めます。

7. 試験内容

本評価試験は、国交省が定めた建設分野特定技能評価試験実施要領に従い、学科試験および実技試験により行います。実技試験問題は、事前に公開されています。試験範囲および実技試験問題についての詳細は、(一社)建設技能人材機構の試験案内HPを参照のこと。

<https://jac-skill.or.jp/exam.html> (日本語)

https://jac-skill.or.jp/exam_en.html (英語)

8. 受験申込み

① 受付期間

令和2年11月12日（木）から11月26日（木）正午12:00まで

② 申込み方法

（一社）建設技能人材機構の技能評価試験マイページから申込みすること

<https://jac-skill.or.jp/member/home/>

※マイページへのID登録は、事前に実施することができます。

9. 当日持ってくるもの

① 証明書

- 在留者については、在留カード
- 在留カードを持たない一時入国者は、パスポート

② 受験票

マイページにPDFで送られますので、印刷するか、当日スマホ等の画面で見せてください。

③ 受験料 現金2000円

④ 実技試験作業に適した服装

⑤ 保護メガネ

10. 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 当日は現地で検温し、発熱があれば受験できません。
- ② 試験会場では、感染予防のためマスクを着用してください。

11. 受験前の準備

受験前の準備として、事前に、実技試験の実施例ビデオを視聴すること、学科試験のCBT操作体験を実施することをお勧めします。

○実技試験 実施例ビデオ <https://www.itea.or.jp/topics/20201028.html>

(光) <https://www.itea.or.jp/topics/optical.mp4>

(メタル) <https://www.itea.or.jp/topics/metal.mp4>

○学科試験 CBT操作体験 <https://jac-skill.mc-plus.jp/exam/trial/>

12. 合格発表

試験後2週間を目処に、マイページにて個別に行います。

合格した場合、各個人宛の合格証明書がマイページに送られます。

合格証明書は、PDFファイルが原本となりますので、大切に保管してください。

試験結果公開 HP には、受験者数、合格者数、合格者比率のみが公開され、個人別の合否状況は掲載されません。また、試験問題内容、個人別の合否状況についてのお問い合わせにはお応えできません。

13. 学科追試験の実施について

本試験において、実技試験において基準点を超えたが、学科試験において基準点に満たなかった方を対象に、学科追試験を行います。追試験にて基準点を超えた方には、合格証書が発行されます。なお、追加の受験料は不要です。

今回の学科追試験は、1月13日（水）に本試験と同じく建設技能人材機構にて行います。本試験の実施後、追試験の対象となる方には、12月17日（木）までに追試験案内を送付しますので、希望される方は、追試験の申込みを行ってください。

申込方法は、追試験案内にてご案内いたします。

結果発表は、本試験と同様、追試験実施後2週間を目途に、マイページにて個別に行います。

14. その他

申し込み後、注意事項がマイページに送られることがありますので、受験日までよく確認すること。

15. 個人情報について

本試験で必要な個人情報は、本試験および合格証明書発行業務にて使用します。国交省の受入計画審査等において求められた場合に、提供することがあります。

以上